

## 第 1 章 調査の概要

---

## 1. 調査の目的

伊勢原市のひきこもりの実態を把握するにあたって、意識聴取及び施策検討調査を行い、必要となるそれぞれの基礎的資料の作成を目的とする。

## 2. 調査対象および調査方法

### ①中学生・高校生相当年齢

調査対象：伊勢原市在住の 12 歳～17 歳（無作為抽出）

調査方法：郵送配付・郵送回収、インターネットによる回答

### ②若者・青年

調査対象：伊勢原市在住の 18 歳～39 歳（無作為抽出）

調査方法：郵送配付・郵送回収、インターネットによる回答

### ③中高年

調査対象：伊勢原市在住の 40 歳～64 歳（無作為抽出）

調査方法：郵送配付・郵送回収、インターネットによる回答

### ④関係団体等

調査対象：伊勢原市内関係団体

調査方法：郵送配付・郵送回収、インターネットによる回答

## 3. 調査期間

令和 6 年 6 月 26 日から令和 6 年 7 月 23 日

## 4. 回収率

|                  | 配付数     | 有効回答数                     | 有効回答率 |
|------------------|---------|---------------------------|-------|
| ①中学生・高校生<br>相当年齢 | 1,600 通 | 573 件<br>(内 WEB 回答 345 件) | 35.8% |
| ②若者・青年           | 1,600 通 | 405 件<br>(内 WEB 回答 217 件) | 25.3% |
| ③中高年             | 1,300 通 | 523 件<br>(内 WEB 回答 200 件) | 40.2% |
| ④関係団体等           | 309 通   | 252 件<br>(内 WEB 回答 79 件)  | 81.5% |

## 5. 本報告書の留意点

- (1) 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。したがって合計が100.0%を上下する場合もある。
- (2) 基数となるべき実数(回収者数)は、“全体(n=〇〇)”として掲載し、各比率は回答者数を100.0%として算出した。なお、「n」はnumber of caseの略であり、設問の回答数である。
- (3) 1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問では、各回答の合計比率が100.0%を超える場合がある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。

## 6. ひきこもり群別について

クロス集計に使用している「ひきこもり群」の定義は、以下のとおり

＜普段どのくらい外出しますか。＞で、下記を選択した者

「趣味の用事のときだけ外出する」

「近所のコンビニなどには出かける」

「自室からは出るが、家からは出ない」

「自室からほとんど出ない」

かつ

＜現在の状態となって、どのくらい経ちますか。＞で、「6か月以上」と回答した者